

第6次総合計画(案)に係る

意見提出手続結果

- 1 意見募集期間 : 令和5年8月3日(木)～令和5年9月1日(金)
- 2 意見提出人数 : 17人
- 3 意見提出件数 : 26件
- 4 提出意見については別紙のとおりです。
お寄せいただいた意見は、それぞれの項目に分類し記載しています。
ただし、個人等が特定される箇所や内容が募集対象に合致しない意見については、記載していない場合があります。
- 5 意見提出者の氏名については、個人が特定されないことがないよう、
A～Qのアルファベット表記に変えて「提出者欄」に記載しています。

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
1	<p>全体</p> <p>【基本構想】8ページ めざす都市像「心地よさ 息づくまち 川西 ～ジブンイロ叶う未来～」</p> <p>【基本構想】10ページ 私たちが大切にしたい思い －4つの基本姿勢－</p> <p>【基本構想】14ページ まちのミライを支える5つの柱 一分野別目標－</p>	<p>分かりやすさを重視したであろうことを理解するが、全体的にボンヤリした印象。</p> <p>・今住んでいる人が大切なのは当然だが、川西市のありたい姿が見えない。例えば「在宅勤務先進市」のような目標が必要。施設の老朽化など、シビアなことは書かないのか。その場合、情報公開と関係者の納得は必須。</p> <p>・周辺自治体や県・国との協同は？言うべきことは言うのも大切。</p> <p>・基本姿勢に学ぶこと、考え合うことを入れてほしい。そうでないと既存の壁は崩れない。</p> <p>・5つの柱になって初めて組織が出てくるのはどうか。</p> <p>以上</p>	<p>総合計画のうち、「基本構想」は、市のまちづくりの中長期的なビジョン(めざす都市像)を示すもの、「基本計画」は、めざす都市像の実現に向けて取り組むべき施策の方向性を体系的に示したものであるため、その性質上、理念的・抽象的な表現となります。また、策定段階において実施した総合計画審議会等で「総合計画とは市民のためのまちづくり計画であるから、見やすさについても十分に配慮すべき」との助言を受け、行政用語を多用せず、手に取りやすいデザインとしています。</p> <p>・「川西市のありたい姿が見えない」とのご意見につきましては、本計画の策定に際しては、市民との対話を通じ、その思いをもとに「ありたいまちの姿」を描く視点も重要と考え、タウンミーティングといった市民参画の取組みを経て、めざす都市像を「心地よさ 息づくまち 川西 ～ジブンイロ叶う未来～」としています。また、ご意見にある施設の老朽化などのシビアな現状・課題につきましては、個別計画の策定時に把握した上で、基本計画における小施策の概要として記載するとともに、個別計画において整理することとしています。</p> <p>なお、施設の老朽化や適切な管理方法については、基本計画P39、小施策29「行政経営」に関連する「行政経営基本方針」や「公共施設総合管理計画」がこれに該当し、同計画も、本計画と同様に意見提出手続(パブリックコメント)を実施し、広く意見を聴取する予定です。</p> <p>・国や県、周辺自治体との連携・協働については、重要な観点であると考えています。そのため、小施策29「行政経営」において、効率的な行政経営に取り組みます。</p> <p>・「基本姿勢に学ぶこと、考え合うことを入れてほしい」とのご意見につきましては、P10の「川西で感じられる心地よさを次世代に引き継げるよう、一緒に考え、取り組んでいきましょう」という記載でその視点を表現していると考えますので、原文のままとします。</p> <p>・「5つの柱になって初めて組織が出てくるのはどうか」とのご意見につきましては、同計画の基本構想の前段では、市の現状を踏まえ、「心地よさ 息づくまち 川西」を都市像として設定するとともに、計画を進めるにあたっての4つの基本姿勢を掲げています。また、都市像を実現するために、各分野別の目標を5つの柱として掲げています。</p> <p>そのため、行政の各分野における施策や小施策の計画における位置づけはP13の体系図で確認できるようにしています。</p> <p>このように、現状、都市像、基本姿勢、分野別の目標、施策、小施策の順番で計画を構成していることから、P13において、体系図を示したほうが一連の流れとしてわかりやすいものと考えています。</p>	Q-1
2	<p>【基本構想】10ページ 私たちが大切にしたい思い －4つの基本姿勢－</p>	<p>私たちは夫婦2人暮らしです。子供を望んでいましたが縁がなく「非積極的なDINKs」という家族構成です。そんな私たちですので、「4つの基本姿勢」の『まず、子供の幸せから始めます』を目にした瞬間から、距離を取りたくなります。「私たちにも子供がいれば、もっと楽しい気分が川西で過ごせたのに」という拗ねた感情が浮かんでしまうのです。</p> <p>子どもの未来への投資について異論はありません。とても大事なことだと思っています。ですが、私たちのような家族にとっては、働いて得た大事なお金をお納めするばかりで、恩恵を受けることはありません。年を追うごとに税負担も増えており、不公平感を感じずにはいられません。</p> <p>私たちが「(少子高齢化対策を)支えるだけ世帯」に対するご褒美はないのでしょうか？せめて、ねぎらいや思いやりのある表現があってもよいのではないかと思います。</p>	<p>本計画の策定過程で実施した市民参画の取組みでも、本市の暮らしやすさに魅力を感じるというご意見が多く寄せられました。ご理解いただいていることにはなりますが、今、子どもの幸せ(未来)を考えることは、そのようなまちの魅力を持続していくためにとても大切であると考えています。</p> <p>一方で、本総合計画は市民が主役となるまちづくりの計画であり、子どもから大人まで、あらゆる人の手で取り組むまちづくりの基本方針です。</p> <p>特に、めざす都市像に掲げる「心地よさ 息づくまち 川西 ～ジブンイロ叶う未来～」には、市民参画の取組みを踏まえ、「一人ひとりが思い描く幸せの形を実現できるようなまちを、みんなでめざそう」という思いが込められています。本計画の「市民」「みんな」「私たち」という表現には、年齢や立場を超えた全ての市民が含まれています。</p>	I-1
3	<p>【基本構想】17ページ 05「変革の歩みを止めない川西の実現」</p>	<p>内容が市役所の組織や仕組みの事由にも関わらず「川西の変革」とする表現は違和感があります。また、行政として時代の変化に対して見直しやあらたな取り組み等は組織として当たり前の事であり、それを「変革」と表現するのは過大表現にも感じます。</p> <p>川西の表現には無理矢理を感じます。「変革の歩みを止めない川西市役所(もしくは組織と仕組み)の実現について」なら理解できます。</p> <p>川西と表現するのなら、「まず市役所が変革の起点となり、市民の皆様の変革へのご協力により川西の変革へ繋がります。」コンセプトを丁寧に説明した方が良いと思います。</p>	<p>第6次川西市総合計画においては、複雑多様化する社会情勢に対応し、めざす都市像を実現するためには、既存の価値観にとらわれることなく、市民一人ひとりがまちづくりのプレーヤーとして柔軟に関わることが大切と考えます。</p> <p>「変革の歩みを止めない川西の実現」とは、行政に限らず、本市に関わる様々な主体(市民や市民公益活動団体、事業者等)が協力することで実現しうる未来像を表現していると考えますので、原文のままとします。</p>	A-1

意見 番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
4	<p>【基本計画】20・21ページ 施策1「子ども・若者」全体</p> <p>【基本計画】33ページ 施策9「都市基盤」 ・小施策21「住宅」</p>	<p>妊婦、子供、若者支援は非常に重要と考えます。出産に伴う通院の補助金、子供のいる世帯への手当、若者が学習しやすい環境整備（教師への処遇改善含む）を行う。また、住宅関連に関してはZEHや長期優良住宅に住んでいる場合に税金の優遇か補助金を出す。これらを行うことで若年層の転入を促して地域活性・税収の安定化を図れるのではないかと考えます。</p>	<p>第6次川西市総合計画では、全ての市民が幸せに暮らせるまちをめざし、基本姿勢において「まず、子どもの幸せから始める」こととしています。ご意見のように、妊産婦や子ども、若者への支援は重要と考えています。また、本市は、市民の皆さまに「住み続けたい」と思っていたりするような施策を展開することで、結果として、市外の方の「住んでみたい」という思いへつながるよう、取り組みたいと考えています。</p> <p>なお、総合計画は、これからのまちづくりの大きな方針を描く計画であり、市全体の事業の方向性については、総合計画（基本計画）及び個別計画において定め、推進することとしています。個別具体的な内容につきましては、基本計画に記載することはいたしません。ご意見を踏まえながら、安心して子どもを産み、育てられる環境づくりについて検討します。</p>	G-1
5	<p>【基本計画】20ページ 施策1「子ども・若者」 ・小施策1「妊娠・出産・乳幼児支援」 ・小施策2「子育て環境整備」</p>	<p>これから子供が産まれるので、子供を育てやすい、川西市で子供を育てたいと他市民からも思ってもらえるような政策を行なってほしいです。具体的には子育て世帯への経済支援や優遇措置、小児科や子供たちの遊び場、子育ての相談場所の拡充。安全の為に道路整備など、わかりやすいものを希望します。</p> <p>明石市の子ども支援の政策を見ると、いいなと感じます。</p>	<p>第6次川西市総合計画では、全ての市民が幸せに暮らせるまちをめざし、基本姿勢において「まず、子どもの幸せから始める」こととしていますので、ご意見のように、安心して子どもを産み、子どもたちが笑顔で暮らせる環境づくりは非常に重要と考えます。</p> <p>本市における妊娠期から子育て期の保護者に向けた支援の例として、継続的な子育て相談が一元的にできる「子育てコーディネーター」を令和4年度から配置したほか、教育上の配慮が必要な幼児への支援を充実させるため、私立幼稚園の加配教員に対して、県の制度で対象とされない部分について、市独自の基準に基づき人件費相当を補助しています。また、経済的な支援については、乳幼児等医療費及び子ども医療費助成の対象世帯を含め、所得制限を行わない制度としています。</p> <p>上記を含め、子どもを安心して育てられる環境づくりについて、ご意見を踏まえて検討します。</p>	D-1
6	<p>【基本計画】21ページ 施策1「子ども・若者」 ・小施策3「教育保育」</p>	<p>我が小学校区は縦に細長く、そして学校は南端。家が北の端にある場合、3～40分急坂道ありです。小学校入学したばかりの小さなころは、1時間ほどかかり、本当に心配でなりません。他の校区は存じ上げませんが、数名の枠内なら隣の近くの学校に、越境入学の制度ができました。我が子が入学したあとに。</p> <p>夏の暑い日は長い長い道のりを、カバンをひきずって、カバンに穴があくほどひきずって、顔を真っ赤にして帰ってきた覚えがあります。よく、熱中症にならなかったなあと。ここ、数年の猛暑酷暑は、その頃よりひどく、毎朝通勤の横目に通学する子供たちをみて、倒れないで学校までいきやーと、心に願っています。</p> <p>そこで、小、中学校入学のときの入学祝いに1人一本。あるいは 学校に生徒数分。なんらかの形で日傘を用意するというのはいかがでしょうか。晴雨兼用の子供用の傘。最近では男性も、チラホラさすようになっています。子供のほうが地面に近く暑いと聞きます。小中学生の通学日傘。是非、ご検討ください。我が子の時にもあったらよかったな、の企画案件です。</p>	<p>総合計画は、これからのまちづくりの大きな方針を描く計画であり、市が担う様々な分野の施策の方向性については、総合計画（基本計画）及び個別計画において定め、推進することとしています。個別具体的な内容につきましては、基本計画に記載しませんので、ご理解をお願いします。</p> <p>ご意見のように、近年のような猛暑日が続く中、登下校時を含めた児童・生徒の熱中症対策は、子どもたちの命を守る上で非常に重要な課題です。日傘の携帯や帽子の着用等、具体的な対策については、児童・生徒一人ひとりの状況に応じ、各家庭で対応いただくことが基本的には望ましいと考えます。その一方で、市教育委員会においても、通学時の安全面や健康面に配慮し、水分補給の指導等を含めた支援をおこないます。</p> <p>また、荷物の多さも登下校時の大きな負担となっていますので、市内小中学校に通う児童・生徒に1台ずつ貸し出しているタブレットを、教科書に代わる自主学習教材として活用するなどし、子どもたちの負担軽減に取り組みます。</p> <p>上記の例を含め、子どもたちが安心できる通学環境について、ご意見を踏まえながら引き続き検討していきます。</p>	C-1

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
7	【基本計画】22ページ 施策3「生涯学習」 ・小施策6「社会教育」	<p>生涯学習短期大学(通称レフネック)は30年に渡って長らく市民に親しまれてきた講座の内容も多様で充実しているとして好評であると聞いている。今年度より「生涯学習アカデミー」として改称・再編されているが、どのような点で変更がありバージョンアップしたのかをお尋ねしたい。</p> <p>また、シニア世代だけではなく、全市民がいつでもどこでも学ぶことのできる、資格取得や単位が取得できるような大学の学位とも連動するような機能や学校教育・高等教育とも関連・連携する機能を構築することなど、社会教育としての新たな切り口で捉えることを提案するが、市としての考えはどうか？</p>	<p>生涯学習は、個人の学びとして完結するだけではなく、習得した知識やノウハウを地域の中で活かしていただくことも大切だと考えており、そのためには、多様な人が気軽に学びへ触れることのできる環境が必要です。</p> <p>そこで、シニア世代だけではなく、多世代が学びあえる新たな生涯学習の場を公民館と一体になってつくるため、ご意見のように、これまでの「生涯学習短期大学レフネック」と「高齢者大学りんどう学園」を受け継ぎながら、新たな生涯学習の場として「(仮称)生涯学習アカデミー」を令和6年度から開講する予定です。なお、令和5年10月からはプレオープンとして短期講座を実施します。自宅の最寄りでも気軽に受講できるよう、川西公民館での対面講座を8公民館へ毎回ライブ配信するなど、より多くの方が学べる取組みもおこないます。</p> <p>今後は、受講者の意見を集めるとともに、新しい生涯学習の形が地域に根ざしたものとなるよう、利用者ニーズやご意見を踏まえながら、開講後も改善を図ります。</p>	M-1
8	【基本計画】23ページ 施策3「生涯学習」 ・小施策7「芸術文化・スポーツ」	<p>私は住まいの住所は宝塚市であるけれども生活圏はほぼ川西です。三人の小学生の子供を持つ親としての意見ですが現状川西市内で子供が思いっきり遊べる場所が多くないと感じており、親が休みの日は市外に出かけることが多いと思います。そこで、平日や週末でも気軽に遊べる場所があったら良いと思うのでオリンピック以降盛り上がりを見せているアーバンスポーツに力を入れてほしいと考えます。</p> <p>高齢者の意見も大事ですがこれからの担う若者たちを心身共にサポートしていくことが我々親世代の役割ではないでしょうか。</p> <p>具体的には川西北部では新名神川西IC近くのエリアに大きいスケートパークの設置。川西中部ではキセラせせらぎ公園にスケートボードの開放エリアの設置(時間や曜日を決めるのもあり)。川西南部では久代エリアにスケートパークの設置。等を希望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> スケートパークができることで ・近隣住民の健康促進 ・コミュニティの形成 ・それにより住民同士の交流が増える ・高齢者と若者との交流 ・地元愛育成 ・オリンピック選手の輩出 ・近県からの観光客の誘致など 良い面があると思います。 <p>騒音問題などを考慮し、設置する場所は地元のスケートボーダーなどと意見の交換をしながら進めれば良いのではと考えます。</p> <p>以上の意見をシンプルにまとめると「スケートパークを作してほしい!」ということになります。よろしく願います。</p>	<p>総合計画は、これからのまちづくりの大きな方針を描く計画であり、市が担う様々な分野の施策の方向性については、総合計画(基本計画)及び個別計画において定め、推進することとしています。</p> <p>個別具体的な内容につきましては、基本計画に記載ませんが、ご意見も踏まえながら市民の皆さんに親しんでいただけるような拠点づくりを検討します。</p>	H-1

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
9	<p>【基本計画】23ページ 施策3「生涯学習」 ・小施策7「芸術文化・スポーツ」</p>	<p>川西市にスケートボードパーク、またはスケートボードが楽しめる場所を設置して欲しい。 スケートパークとは、スケートボードのために設計され、滑るためのセクションなどが特別に装備された、専用のスペースです。一人でもグループでも自分自身に挑戦し、励ましあい、リスクを管理することを学びながら、自分の目標を設定して達成するための安全な場所です。自主的なエクササイズやクリエイティブな表現、健康的な習慣を身につける場所でもあります。忍耐する方法や粘り強さの価値を学ぶ場所であり達成感を味わい、自信をつけられる場所です。個性を存分に発揮でき、年齢や性別、家庭環境などを問わずに友人や仲間を見つめられる場所。あらゆる人たちに開かれている場所。それがスケートパークです。</p> <p>【現状】 <場所の問題> 川西市にはスケートボードを練習できる場所がまだありません。若い純粋なスケーターはプロやオリンピック選手に憧れて実際に滑り始めても公園や道端で大人に怒られてしまう事もよく聞く話です。「オリンピックであんなに盛り上がったのに何故怒られるん??」子ども達は混乱します。また、愛好家達は長年他府県のスケートパークなどに出向いて滑っています。</p> <p>例：西宮浜スケートパーク（車で約1時間）、神戸みなとのもりスケートパーク（車で約1時間）、北神戸田園スポーツ（車で約1時間）、京都火打形スケートパーク（車で約1時間）、is011ie 中崎町（電車と歩きで約50分）、X-tech 豊中（電車と歩きで約40分）</p> <p><騒音問題> 静かに暮らしたい人にとって騒音は大問題です。私も嫌です。一方、スケートボードは大きな音が出ますが、大人たちは夢中なので自分たちが出している音に気がつきにくいです。ここにスケーターが滑りたい場所と地域住民のマッチングが相容れてない現状があります。 川西市にも一定数のスケートボード愛好家がいるが、滑る場所がなくお金と時間を使って遠出して滑っている。遠出できない子供や若者は迷惑にならない場所を探し出して滑っている。が、そういう場所もあまりないためせっかく始めたスケートボードを諦めて、やめていってしまいう子もいる。（上手く滑るだけが全てではない、文化、芸術、音楽も含めた本当のスケートボードの魅力に気づく前に）</p> <p><問い：これからの子供達の行き場> スケートボーダーに限らず川西には若者がのびのびと楽しく過ごせる場所が必要ではないでしょうか？子供達は気軽に集まっていますか？近所に簡単に行けて憩える場所がありますか？思春期の若者はどこに集まりますか？家で勉強やゲームをしていれば魅力的な大人になれますか？様々な視点を持って様々な経験することが重要ではないでしょうか。</p> <p><スケートパークがあれば> スケートパークには年齢や性別に関係なくみんなスケートボードを軸に集まります。当然大人より上手な子どももいますから、そういう子どもから大人が教わったりまた、年齢がすごく離れてても仲良く滑れたり、話ができたりすることを通して子ども達には学校や塾の他にもフラットな状況で、大人や年の離れた人たちとコミュニケーションをとる機会が増えます。そういったことから学んでいくことも多々あると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者を中心に老若男女問わず集える明るい空間 ・学校が終わってから夕飯までの間の楽しい時間を過ごせる。 ・仕事帰りの大人（朝、夜）も滑れる。 ・若者や新たにスケートを始める人に対し、法律ではないスケートボードの最低限のマナーやルールが共有できる場となる ・自分たちでルールを作り運用することでモノゴトの仕掛けを理解し、試行錯誤することで、より社会と協調した仕掛け作りに昇華、運用することの喜び・重要性が学べる 	<p>総合計画は、これからのまちづくりの大きな方針を描く計画であり、市が担う様々な分野の施策の方向性については、総合計画（基本計画）及び個別計画において定め、推進することとしています。</p> <p>そのため、個別具体的な内容につきましては、基本計画に記載しませんが、ご意見のような、既存の公園等を含め、子どもたちが安心して遊べ、地域に親しまれる拠点の整備は、日常のにぎわいづくりのほか、まちへの愛着が育まれるという観点からも大切だと考えます。</p> <p>施設の整備については、安全面や環境面に十分配慮することはもちろん、利用者が主体的に管理・運営に関わり、周辺住民との合意も得られることが非常に重要になると考えます。</p> <p>ご意見も踏まえながら、市民の皆さんに楽しんでいただけるような拠点づくりを検討します。</p>	P-1

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
		<ul style="list-style-type: none"> ・常に人がいることで防犯効果もアップ。 ・健康的な習慣作り ・親子・近所の大人や子どもとのコミュニケーションの場となる ・子ども達のチャレンジ、学びの場 ・高齢者も見えて楽しい <p>若者が一所懸命チャレンジしている姿を公の場で目にすることができる。新しくできたスケートパークの周りに通りすぎる高齢者が口々に仰ること。「若者が元気に遊んでるのを見ると元気をもらえる。」今まで数々オープンしたスケートパークに行ってきましたがこの話は本当によく聞きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・騒音問題からの解放 <p>音の問題が発生しない場所を選定することや道具の吟味、利用時間帯を設定することによって今まで好ましくない場所で滑っていたスケーターたちをもっと魅力的な場所に誘導することができます。結果騒音問題を解決できるのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政にとってのメリット <p>新しい試みをしている市のアピールになり、若者に理解のある町というイメージが定着した際には自然と若い家族も集まってくるようになるのではないのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の誘致 <p>魅力的に設計されたスケートパークはスケートボーダーの観光客を増やしたり、家族でのお出掛けの候補にもなります。人の交流や回遊が増えることによって少なからず経済的なメリットもあるのではないのでしょうか。</p> <p>【最後に】 以上、語り尽くせませんが、上記だけでも第6次川西市総合計画 基本構想(案)【資料2】P11に記載の私たち体が大切にしたい思い—4つの基本姿勢—に対しても、各項目に当てはまることも多いと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①まず「子どもの幸せ」から始めます ②人に寄り添い、お互いの個性を認め合います ③未来に責任を持ち、時速可能な仕組みをつくります ④日々の暮らしで感じられる幸せを大切にします <p>また、同資料P13 基本構想の5つの柱(分野別目標)のうち、以下の3つの柱に対しては特に有用であると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人が豊かに育つ川西の実現 →社会教育、芸術文化・スポーツの観点 ③安全安心を備えた川西の実現 →健康増進の観点 ④快適な環境で暮らせる川西の実現 →公園利用の観点 (但し相談は必要) <p>現在もスケートボードに対する問合せやクレームが行政に入っていると推測します。コロナ禍や東京五輪でのスケートボード人気により、スケート人口は爆発的に増えていますが、2024年のパリ五輪でもスケートボードは採用され日本人の活躍が期待されておりさらにスケート人口、需要は増えると思います。スケーターが増える＝行政へのスケートボードに関する問合せ/クレームも増えると思われまのでスケートボードに対する市の動きを更に加速頂けましたら幸いです。</p>		

意見 番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
10	【基本計画】25ページ 施策4「歴史・観光」 ・小施策8「歴史・観光」	<p>市公式HPのリニューアルに伴い、川西池田駅前にある源満仲像をデザインに挿入するなど郷土への親しみを感じさせ、清和源氏発祥の地としてのアプローチとしては評価できる。</p> <p>一方で、次期大河ドラマ「光る君へ」では、同時代において、高校古典の学習指導要領に入る花山天皇の出家事件(「大鏡」からの出典)という出来事が存在する。その中では、源満仲や源頼光も大きく関与し、大変重要なポイントと位置付けられ、作中でも描かれる可能性もあるが、市としても関連したPR・企画等、まちおこしへの取り組みなどはされているのか？(作中で描かれられる予定がなくとも、自治体側のアプローチが求められる。満仲の多田院への出家、安和の変など時代性を絡めた視点で)</p> <p>今までも大河ドラマでは源氏に関連する場面、大人気アニメ「鬼滅の刃」にも肖りコラボレーションをすることなど、市の歴史から内外に発信・アピールしていく機会・可能性は幾度となくあったかと思われるが、自治体側のアプローチに正直物足りなさを感じており、今後、歴史・観光分野の施策を強化・推進するにあたって不可欠だと思われる。</p> <p>また、市の今年度予算には、市史の編纂に約1100万円の予算を組み、市政70周年に向け、市としても力を入れていることが一定程度伝わりますが、評価指標にある現行の54%から70%に広げるにあたり、どのように郷土史に対する市民の関心・理解を高めていくのか、具体的なプロセス、現行での方針・提案があれば教えて欲しい。</p>	<p>総合計画は、これからのまちづくりの大きな方針を描く計画であり、市が担う様々な分野の施策の方向性については、総合計画(基本計画)及び個別計画において定め、推進することとしています。</p> <p>個別具体的な内容につきましては、基本計画に記載しませんが、ご意見のように、本市ならではの観光資源について市民が親しめるような情報発信や取組みは、市民のみならず市外の方へもそれらの価値や魅力が理解され、交流人口の拡大にもつながるものと考えます。</p> <p>特に、清和源氏については本市観光協会及び清和源氏まつり実行委員会をはじめ、市民や事業者と連携したPRを推進していきます。</p> <p>また、本市が令和6年度に市制施行70周年を迎えるにあたり、本市の歩みを川西市史として整理し、web版の記念誌を発行するほか、編さんされた市史を小中学校の社会科の副読本にも活用するなど、本市の郷土史について広く周知を図ります。</p>	M-2
11	【基本計画】25ページ 施策5「地域産業」 ・小施策9「商工振興」	<p>川西市は利便性の良さに割に自然も豊かでとても良い場所だと思います。ただ、駅前に少し華やかさや文化的な要素が少なく感じます。降りた時に「良い街だな」と感じるような整備や魅力的なお店の誘致もご検討頂ければと思います。北伊丹駅をよく利用しますが、駅前にもう少しお店があればいいなと思います。代表駅の川西能勢口、川西池田駅の前には伊丹駅のように美術館や図書館など、文化施設や川西ならではの地元の商品が並ぶお店などもあればいいなと思います。</p>	<p>総合計画は、これからのまちづくりの大きな方針を描く計画であり、市が担う様々な分野の施策の方向性については、総合計画(基本計画)及び個別計画において定め、推進することとしています。</p> <p>個別具体的な内容につきましては、基本計画に記載しませんが、ご意見のように、地域資源を活かし、市民にとって「住み続けたい、帰ってきたい」、市外の方には「訪れたい」と思えるようなにぎわいを生み出すことは重要と考えています。</p> <p>本市では、まちのにぎわいづくりをめざし、令和2年度から川西能勢口駅と駅前商業施設をつなぐ道路空間「ペDESTリアンデッキ」を活用したイベントを実施するなど、来街者の増加を図っています。また、阪急川西能勢口駅周辺には、みつなかホールをはじめ、中央図書館、アステ市民プラザ、ギャラリーかわにし文化施設があり、様々な催しを開催しています。</p> <p>ご意見を踏まえ、市民や来街者が「良いまちだな」と思えるにぎわいづくりについて検討します。</p>	D-2
12	【基本計画】25ページ 施策5「地域産業」 ・小施策9「商工振興」	<p>川西市で70年以上商いをしております。私で4代目となります。ユーザー様の中に市役所もありますが、最近では値段だけでネットや市外の業者から購入されているようです。市内業者でまかなえない商品は致し方ないと思いますが、市内の業者を利用していただけないと、市内の業者は潰れてしまいます。また地域の小学校・中学校・市内にある警察・高等学校、他官公庁関連の施設も、値段だけでネットで購入されていて、市内業者がすたれてしまいます。市内の業者は、川西市に税金を納めています。その市内業者をないがしろにして、川西市に住所のみおいている業者やネットでの購入をされると、地元ですつとやってきている私たちのような商店は悲しい限りで、いずれ潰れてしまいます。それを地元産業の活性化と呼ぶのでしょうか。</p> <p>官公庁は税金を正しく使うようにされているとは存じておりますが、私たちが薄利での商売を行っております。それなのに、値段のみでの購買で市内業者が商売しにくい状況を理解いただき、市内業者が活気づく、優位性や施策を切にお願いしたいです。</p> <p>このままいくと、何年後かに物品納入業者は潰れて無くなってしまおうと思います。当店もそのうちの一つになりそうです。</p>	<p>本市においては、中小企業者の受注の機会を確保するため、発注する物品については、できる限り市内事業者を優先しています。一方で、発注業務においては、手続きの透明性を高めるとともに、市民の皆さまから預かった税金を有効に使用するため、経済性・競争性を確保するという要素も重要です。市としては、市内業者の受注機会の確保を念頭に置きつつ、その時々状況に応じた契約方法を採用しておりますので、ご理解をお願いします。</p> <p>なお、庁内に向けて、インターネット(ECサイト)からの購入をできる限り控え、市内事業者への発注に努めるよう定期的に周知しています。</p> <p>このほか、市内事業者が活気づく施策に関しては、基本計画の小施策9「商工振興」において「地域の既存産業に活気があり、買い物等生活の利便性の向上により、身近な地域で豊かな暮らしが実現できている」ことを未来像に挙げています。この未来像の実現に向け、ご意見を踏まえながら、主に商工振興に関する「産業ビジョン」や「中心市街地活性化基本計画」等の中で施策の方向性を検討していきます。</p>	F-1

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
13	【基本計画】25ページ 施策5「地域産業」 ・小施策9「商工振興」	<p>中心市街地活性化にマチノマの試験運用など新たな取り組みができ、市民の新たな居場所・賑わいづくりに大きく寄与するものと期待している一方で、質問は以下の二点。</p> <p>①アステ川西に関する経営状況 中心市街地のランドマークであるアステ川西では、開業以来、長期・短期での借入を繰り返し、未だ返済目途が立っていないと同時に、ミクロとマクロの両面での経営的ビジョンが全く見えてこず、川西市都市開発株式会社は勿論、議会・行政としての努力不足によるものであると言わざるを得ない。コロナ禍も迎え、業績悪化に伴い今後の運営は大変厳しいものと認識しているが、今後の具体的な戦略や新たな展開があれば提示いただきたい。</p> <p>②妙見の森周辺における事業について在り方 市内事業者である能勢電鉄株式会社では、今年度6月末をもってケーブルの営業終了し、来年度末には妙見の森テラスも営業終了とされており、川西を象徴する自然・妙見山及び北部地域の経済活性化に対してマイナスに作用していると思われるが、それらに対する市の見解と代替策を明示いただきたい。</p>	<p>総合計画は、これからのまちづくりの大きな方針を描く計画であり、市が担う様々な分野の施策の方向性については、総合計画（基本計画）及び個別計画において定め、推進することとしています。個別具体的な内容につきましては、基本計画に記載しませんが、ご意見のように、中心市街地のにぎわいづくりに関しては、市民の交流・活動拠点や商業施設の充実は大切だと考えます。川西市都市開発(株)の経営については、コロナ禍によって厳しい状況となっていましたが、リニューアルを行い、経営状況も回復傾向となっています。</p> <p>また、10月には(株)パルティ川西と川西能勢口振興開発(株)を吸収合併することが決定しており、合併によって、経営管理体制・業務のスリム化を図り、経常利益1億円以上を安定的に確保できる会社をめざしています。</p> <p>効果的な経営ビジョンの策定や具体的な取り組みについては、小施策9「商工振興」や小施策29「行政経営」において推進します。</p> <p>また、「妙見の森ケーブル」等の営業終了については、ご意見のように本市の観光事業に影響を与えるものと認識しています。市北部には、観光資源として黒川の里山や、知明湖キャンプ場などがあり、それらの資源の効果的なPRに取り組んでいきます。</p>	M-3
14	【基本計画】30ページ 施策8「福祉」 ・小施策17「地域福祉」 【基本計画】31ページ 施策8「福祉」 ・小施策19「高齢者福祉」	<p>2023年5月実施の「川西市の地域福祉推進に関するアンケート結果報告書」から、第6次川西市総合計画基本計画（案）の福祉関係分野（地域福祉・特に高齢者福祉など）に、下記の視点の充実を！！</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 高齢者の社会参加の促進及び就労対策の拡充 従来からの施策の強化が重要→地域力のアップや健康増進を進めるために 2, 移動手段の確保 免許返納により、移動の自由が制限され、中には引きこもり状態が加速されるなど、負の現象が無視できない 移動手段の確保対策は、今後の川西市の喫緊の課題 3, 居場所の拡充と、空き家の利活用 徒歩で気軽に利用できる、居場所を各地域に出来るだけ多く設置する、行政・社協・地域などの知恵で設置や運営方策を探る 4, 地域で受け入れ可能な要高齢支援者のくらしを支える対策を 5, 複雑・多様化する相談窓口の機能強化、及び伴走型支援者の育成 6, 福祉活動をはじめとする、地域活動への人材確保対策 高齢者が地域活動を支えているのが現状であり。このままでは地域の衰退は避けられない <p>*各種計画は出来るだけ、一見して分かりやすく、理解しやすい内容を期待したい、計画は誰の為の物でもなく“市民のためのもの”としての活用を！！</p>	<p>総合計画は、これからのまちづくりの大きな方針を描く計画であり、市が担う様々な分野の施策の方向性については、総合計画（基本計画）及び個別計画において定め、推進することとしています。したがって、該当する施策の具体的な方向性については、対応する各個別計画の記載をもって補完しています。具体的には、地域福祉及び高齢者福祉の分野に該当する「地域福祉計画」や「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」等を中心に、ご意見を踏まえながら、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるようなまちづくりを推進します。</p> <p>また、総合計画を含む各個別計画の記載については、ご意見のように、市民にとって分かりやすい内容となるよう取り組みます。</p>	L-1
15	【基本計画】31ページ 施策8「福祉」 ・小施策18「障害福祉」	<p>軽度の知的障害の息子をもつ母です。障害のある子を持つ親にとって、一番の心配は、親亡き後、本人が生活していけるのか、ということです。支援プランを作成することは大きなことかもしれませんが、実際の就労B事業所は時給100円です。就労する場所があるだけ幸せなのかもしれませんが、1日5時間働き、500円もらって、昼食代を500円自費で払っていただければ、お給料はありません。</p> <p>確かに障害のある人の働きは100円以下なのかもしれませんが、本当にそれで生活していけるのでしょうか。障害者年金をもらっても、親が誰かの助けがないと生活はできません。今後、障害のある人が安心して生活出来るような施策を何か作ってほしいです。</p> <p>また今の就労施設は、賃金が安いので、一般の企業や市役所が障害者雇用を推進できるような施策がほしいです。 身体障害の方だけでなく、知的障害や精神障害にも雇用の枠を広げてほしいです。</p>	<p>総合計画は、これからのまちづくりの大きな方針を描く計画であり、市が担う様々な分野の施策の方向性については、総合計画（基本計画）及び個別計画において定め、推進することとしています。個別具体的な内容につきましては、基本計画に記載しませんが、ご意見のように、障がいを持つ方が自身の能力を発揮し、地域で安心して暮らせるための環境整備は重要と考えています。</p> <p>令和2年度には、相談の中核機関である障がい者基幹相談支援センターの開設や委託相談支援事業所を1カ所から3カ所に増やし、相談支援体制を充実したほか、川西市障がい者雇用・就労推進本部を設置し、関係機関と連携した支援を行うなど、障がい者の就労促進を図っているところです。</p> <p>なお、障害福祉施策の具体的な方向性については、対応する各個別計画である「障がい者計画」や「障がい福祉計画」をもって補完しており、ご意見を踏まえながら、障がいのある方が安心して自立した社会生活を送れるような施策を推進します。</p>	F-2

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
16	【基本計画】34ページ 施策9「都市基盤」 ・小施策22「道路」	市役所前の道を広くしてほしい 現在徒歩で行く事が多いのですが 市役所前の道にしては歩道が狭く自転車歩道を通るので危険 猪名川河川敷の整備を絹延橋から上流もお願いしたい。 滝山から銀橋への猪名川沿いの道路を広くするか一方通行を考えてほしい 非常に危険	総合計画は、これからのまちづくりの大きな方針を描く計画であり、市が担う様々な分野の施策の方向性については、総合計画（基本計画）及び個別計画において定め、推進することとしています。 個別具体的な内容につきましては、基本計画に記載しませんが、生活道路を安全に通行できる環境づくりについて、他の手法も含めて検討します。	B-1
17	【基本計画】35ページ 施策9「都市基盤」 ・小施策24「公園」	公園の存在は全ての市民はもちろん、特に力を入れていらっしゃる「子どもの幸せ」というところにも深く関わっていると思います。 ルール変更だけでなく、そもそもの公園の在り方なども今までの枠組みに捉われず考えていきたいです。 我が家の近くの公園は、公園と名前がつくところでも、寂しい印象の公園が多いように感じます。しかし、少子高齢化を考えたときに、新しい遊具を設置したり、その遊具を長期的にメンテナンスしたりすることが必ずしも税金の良い使い道であるとも思えません。 そこで、子どもはもちろん、おじいちゃんおばあちゃん、お父さんお母さんも自然に寄っていきたくなるようなパブリックスペースになればいいと思います。具体的な一案としては、今ある公園の一角を「子どもファーム」のような誰でも自由に収穫でき、栽培できるようなスペースがある公園などが個人的にはとても興味深いです。 子どもたちがメインで多種多様な種を植え、農や菜園に詳しい方がアドバイスをくださったり、近所の方たちが収穫したものを分けあったり種を交換しあったり。（日本で言うと神戸市兵庫区にある平野展望公園「食べられる公園」のような誰でも自由に収穫でき、栽培できるようなスペースがある公園などが個人的にはとても興味深いです。） また、地域ごとに主体的に公園づくりに取り組むということについてはとても賛成しています。しかし、私の住む地区は子供だけでなく高齢の方も多いので、意見収集の方法も考えていく必要があると思います。 これは公園のことに限らずですが、ネットやメールなどが使いづらい方たちの声も取り入れ、全世代の意見が取りこばれないような仕組みづくりということなのです。	総合計画は、これからのまちづくりの大きな方針を描く計画であり、市が担う様々な分野の施策の方向性については、総合計画（基本計画）及び個別計画において定め、推進することとしています。 ご意見のように、市民が公園のあり方を検討し、使いやすい公園をめざすことで、公園が市の管理物というイメージから、自分たちの利用するものとなることを期待されます。このことから、市民の手により様々な利用が展開されるよう、まずは地域の皆さんで話し合い、地域ごとで特色のある公園づくりの取組みを進めているところです。 特色のある公園づくりを進めていくためには、地域の皆さんの合意形成が必要となりますが、ご意見を踏まえ、この取組みだけでなく、様々な施策を進めていくにあたりまして、多様な人の思いを開けるような場づくりや仕組みづくりを進めていきます。	0-1
18	【基本計画】36ページ 施策10「環境」 ・小施策26「生活衛生」 ・小施策27「環境保全」	ゴミの排出抑制についてはもっと強く推し進めてほしいと願っています。これは川西という視点だけでなく、日本や世界、地球規模で見た時にも避けては通れない道だからです。（地球温暖化をはじめとする環境問題） ゴミの減量や分別、リサイクルなどは最低限のことなので、ゴミをゴミとしない方法や、自然豊かな地域だからこそできる強みを活かした取り組み方法がもっと広まればと思います。具体的には以前されていた「私がやっている食品ロス削減紹介してください」のような企画をゴミ削減バージョンにしたものなど。市民の人たちがそれぞれどのような工夫をされているのかを共有したり、このような問いかけを掲げることでゴミに対する意識を変えていったりすることが大切だと思います。また、「食品ロスゼロチャレンジ」でされていたようなコンポストや堆肥化、それを使って植物を育てるなどの取り組みが一時的なイベントではなく、日頃からいろんな人たちが当たり前に行っているような地域を目指したいです。とても具体的な案で申し訳ないのですが、個人的には地域ごとのコンポスト設置などが実現できれば交流や意見交換の場にもなり、良いのではと考えています。 この辺りは自然が多い街なので、土や落ち葉や枝など自然から出たものもよく出ます。そしてそれらがゴミ袋に入れて出されている光景もよく目にします。ゴミ袋代も燃やすコストもそれによって発生するCO2も、堆肥化した方が人にも地球にもずっと優しいのにもと思います。生ごみなどは害虫や害獣などの問題もありハードルが高いかもしれませんが、まずは失敗が少なく自然に還りやすいものだけをターゲットにしたコンポストでも良いと思います。（私は長年個人的に堆肥化をやっていますが良いことづくめです。）地域型コンポストは、ゴミ削減になるだけでなく、できた堆肥を前述した公園の菜園など公共の場で使うことができればゴミのことも環境のことも地域のこと自分ごとと感じ、もっと自然や循環を身近に感じられる豊かな暮らしが広がる気がしています。 今回の意見募集は、もしかしたらこのような具体的な意見ではなく、もっと広く浅いものを求められていたかもしれません。その場合は大変失礼いたしました。しかし、一市民として何かできることはないかな、もっとこうしてみたらいろんな可能性が広がるんじゃないかなと思っていたことをこの場をお借りして一意見として提出させていただきました。 長文お読みくださり誠にありがとうございます。	総合計画は、これからのまちづくりの大きな方針を描く計画であり、市が担う様々な分野の施策の方向性については、総合計画（基本計画）及び個別計画において定め、推進することとしています。個別具体的な内容につきましては、基本計画に記載しませんが、循環型社会の構築をめざす上で、ご意見のように、家庭ごみの減量に向けて各家庭が手軽に行える取組み等を発信するほか、それらが一過性にならないよう、効果的な手法を検討する必要があります。 なお、施策の具体的な方向性については、対応する個別計画の内容をもって補完することとしています。ご意見を踏まえ、小施策26「生活衛生」にかかる個別計画である「一般廃棄物処理基本計画」及び「分別収集計画」を中心に、市民がごみの排出抑制やリサイクルに積極的に取り組めるような施策を推進します。	0-2

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
19	【基本計画】38ページ 施策11「参画・協働」 ・小施策28「参画・協働」	平成27年度からスタートした地域分権の運営についても数値で検証できる仕組みを設けてもらいたい。	地域分権制度の開始以降、市内の地域コミュニティ組織を対象に、使途が限定された従来の補助金に代え、各コミュニティ組織が策定する地域別計画に基づいた取組みに活用できる交付金制度を実施しています。 本交付金は、コミュニティ組織が自治会や福祉委員会などの各種団体と連携し、地域ごとに特色をもった取組みに活用されており、地域住民による地域づくりに寄与するなど一定の効果があつたものと考えていますが、効果額の算出が困難であるため、数値での検証については、総合計画に掲げる指標で総合的に判断していきます。	J-3
20	【基本計画】38ページ 施策11「参画・協働」 ・小施策28「参画・協働」	参画と協働に主体的に関与している市民・団体などが意識の高い一定の層に留まっており、同質的なメンバーによって形成され、全市民的な参加に繋がっていないのではないかと考える。 また、自治会報奨金制度等の減額など、自治に対する風向きが厳しくなる中、より多くの市民が主体的かつ俗的に参画と協働に関与できるような、市民間での一層の協働を啓発・取り組んでいく必要があり、計画案には調整中となっており可視化されていない部分が多くあると思われるが、市としての方向性・戦略を伺いたい。	ご意見のように、少子高齢化、価値観の多様化が進む中においては、市民一人ひとりが各々のペースやスタイルでまちに関わることでできる仕組みが重要と考えます。そのためには、市民がまちづくりを「ジブンゴト」としてとらえ、参画しやすい環境を整えていく必要があります。 その一環として、本計画の策定過程において実施した市民参画の取組みでは、これまでまちづくりの協議の場に参加したことがないという若年層が多く、学生を含む多世代間で、現在の暮らしや未来への思いを共有することができました。今後も、より幅広い方に関わっていただけるような取組みを今後も企画します。 自治会報償金については仕組みを見直し、同額を上限に補助する制度としており、また、自治会がおこなう新たな取組み等に対する補助も設けているところです。住民の自治意識の向上はとて大切だと考えており、「より多くの市民が主体的かつ継続的に参画と協働に関与できるような、市民間での一層の協働を啓発・取り組んでいく必要がある」という意見につきましては、多様な人が、自分にできることで気軽に参画できる仕組みづくりが重要だと考えます。現在実施している「できること、やりたいこと」がある方と「協力してほしいこと」がある団体を結びつける「地域人材マッチング制度」等を含む参画と協働の取組みについて、ご意見を踏まえながら検討・改善していきます。	M-4
21	【基本計画】38ページ 施策11「参画・協働」 ・小施策28「参画・協働」 【基本計画】40ページ 施策12「行政経営」 ・小施策31「ICT推進」	役所の業務の効率化についても確りした目標値を掲げることを求めます。 *ICTの取組みが最重要事項です。この計画でのICTの位置づけでは低すぎます。 一例を上げれば、毎年更新している後期高齢者の保険証ですが、これには大変な経費が掛かると考えます。マイナンバーカードの利用等々を適用することで、費用をかけないで済む方法を求めます。我が国の労働生産性は先進国の中で低いと言われていますが、これでは市民の生活は豊かになりません。イメージで言えば、市役所本体に係る予算を30%削減（ICTを駆使して）しその分を地域コミュニティ運営にあて地域分権の成果を上げていく事を求めます。	総合計画は、これからのまちづくりの大きな方針を描く計画であり、市が担う様々な分野の施策の方向性については、総合計画（基本計画）及び個別計画において定め、推進することとしています。 個別具体的な内容につきましては、基本計画に記載しませんが、ご意見のように、ICT推進の観点は業務効率化に不可欠と考えます。DXを初めとする業務効率化を進め、行政の経営資源を有効に活用し、より良いサービスとして提供できるよう取り組みます。 なお、各地域のコミュニティ組織には、「地域づくり一括交付金」を交付し、地域の実情にあわせて課題解決の取組みを進めていただいています。また、令和元年度には地域を指定してなされたふるさとづくり寄付金と同額を交付する「ふるさと支援金制度」を創設しました。今後、よりよい地域づくりのために地域コミュニティ組織との新たな協働の取組みを検討し、進めていきます。	J-2

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
22	<p>【基本計画】 その他</p> <p>【基本構想】 10ページ 私たちが大切にしたい思い ー 4つの基本姿勢ー</p>	<p>1 調整中と記載されているものは、数字として出せていない時点で意見を募集する状況に達していないと感じます。意見募集した後に市にとって都合の良い数字を出されては困るため、再度意見募集を行うという認識であっていますか。</p> <p>2 4つの基本姿勢について</p> <p>(1) 「子どもの幸せ」と記載しているが対象年齢の記載がなく、また何を達成したら幸せなのか行政が作成するものとして不明瞭と感じます</p> <p>(2) 「人に寄り添い、お互いの個性を認めあう」となっていますが、受け取り方によっては低レベルでの団結（表面を取り繕う人間関係）を印象づけます。高次元の団結を目的としているのでしたら「行き届いた教育から、自己と他者の違いを認識したうえで中庸（ちゅうよう）となりえる偏りのない人間を形成する」という具合の表現がいいと感じます。</p> <p>(3) 「持続可能なしくみをつくります」に記載されている内容の「持続可能なまちを目指す」は、8年間のビジョンに対する表現としては短い期間ではないかと感じます。また50年後、人口減少によって仮に市民が現時点での10分の1となった場合でも川西市が健在であれば、文章上の持続可能なまちは達成できていると言えます。あくまで第6次川西市総合計画の趣旨が8年間のビジョンであるなら8年間で何を達成するのかを基本姿勢に盛り込むべきではと感じます。</p> <p>(4) 「幸せを大切にする」という表現は、何をもちって幸せなのかよくわかりません。</p> <p>3 以上のことから表現が抽象的すぎであり、受け取る人によって玉虫色となるような表現となっています。誰もが共通の認識を持つことが出来る言葉を選ぶべきと感じます。</p>	<p>1 調整中と記載している指標につきましては、新たに総合計画の指標として設定しようとしている指標で、実績値となる数値を現時点では把握していないことから、「調整中」と記載しており、市の都合の良い数字を用いようとしているものではありません。「調整中」としているもののうち、市民実感を測る指標は、令和5年10月に実施する「川西市市民実感調査」を元に反映し、令和6年3月に公表する予定です。</p> <p>なお、指標については、策定後の実行段階においても、定期的に審議会を開催し、基本計画の進捗管理を行い、専門家等の意見をいただきながら、必要に応じて見直すこととしています。</p> <p>2 総合計画(基本構想)とは市のまちづくりの中長期的なビジョンを示すものであるため、その性質上、理念的、抽象的な表現が中心となります。</p> <p>まちは、年齢や立場、価値観の異なる様々な人の暮らしで形づくられており、ご意見のように何をもちって「幸せ」とするかは市民一人ひとり異なります。</p> <p>その上で、本総合計画では、それぞれが描く幸せの形を尊重し、互いにその幸せを叶えられるまちでありたい、という思いを掲げています。その実現に向け、「年齢や立場に関係なく、川西に関わるあらゆる人と共有しようとする思い」が「4つの基本姿勢」です。</p> <p>したがって、各基本姿勢の記述から想起される対象や具体的なシーンは、読み手がジブンゴトとして捉えて、考えて、理解するつもりとしています。</p> <p>(1) 上記の理由から、子どもの年齢や幸せのあり方は限定していません。</p> <p>(2) ご意見のような考え方も含め、多様な受け取り方を否定していませんので、表現はこのままとします。</p> <p>(3) ご意見のように「持続可能なまちを目指す」という表現は、同計画期間中に限るものではありません。</p> <p>(4) 一人ひとりが思い描く幸せの形を尊重し、大切にしよう、という意味です。</p> <p>3 以上のことから、「4つの基本姿勢」は、「幸せの形が十人十色であることを認め合い、それぞれの“ジブンイロの幸せ”ができるまちであるために大切にしたい考え方」を表現していると考えますので、表現はこのままとします。</p>	N-1
23	<p>【基本計画】 その他</p>	<p>私は、現在クラウドファンディングで多田駅下車すぐのところにある、しおかわに生息する蛍の生息地を守る資金を募りながら活動しております。もし私どもの活動に賛同していただけるのであれば是非ともご連絡をいただきたく存じます。</p> <p>また、鼓滝駅BigMotorのある通り173号線の猪名川側は、多田駅を過ぎるまで、ほぼ車の中古車販売会社で埋め尽くされており、夜の閉店後は真っ暗闇の中、女性は帰宅せねばなりません。問題は街灯ではなく車の中古車販売会社の数です。特にBigMotorのある猪名川沿いは、アスファルトではなく川沿いにジョギングや散歩のできる砂利道に変えたらどうでしょうか。そして、川や緑を一望できるカフェなどを誘致するのも良いと考えます。</p>	<p>総合計画は、これからのまちづくりの大きな方針を描く計画であり、市全体の事業の方向性については、総合計画（基本計画）及び個別計画において定め、推進することとしています。</p> <p>個別具体的な内容につきましては、基本計画に記載することはいたしません。ご意見を踏まえ、歩行者が夜間も安全に通行できる環境づくりについて、他の手法も含め検討していきます。</p> <p>なお、民有地における企業誘致を含めた利活用の方向性は、土地の所有者の判断に委ねられるため、まず、所有者や地域住民の方のお考えが大切だと考えております。</p>	E-1

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容	市の検討結果	提出者
24	【基本計画】 その他	本計画は大変確りした計画であると思います。 問題は行政及び市民がこの計画に基づいて行動を起こし成果を上げていく事です。R9年度には検証して必要に応じて目標値の変更を求めます。	ご意見のとおり、指標の検証や分析については、毎年の決算時に行うものとし、必要に応じて目標値を変更します。	J-1
25	【基本計画】 その他	市役所の幹部（部長級以上）の方々は市内に定住する条件を設けていただきたい。評価の高い川西市を創り人々に選ばれる町にするため、先ず幹部が市の経営について本気で取り組む体制が必要です。（市外の人材ではそれなりで終わります）	市職員は、行政サービスの担い手として、平常時の業務対応はもとより、災害時の緊急対応といった面からも、市内に赴き従事する場合がありますが、全ての職員は、住所に関係なくそれぞれの使命を果たすべく職務にあたっています。 職員の居住地については、憲法上「居住、移転の自由」が保障されていることや、職員の家庭の事情などを考慮すると、市内居住を一律に強制することは難しいものと考えます。	J-4
26	【基本計画】 その他	以下のような受け手の捉え方次第で答えが変わるような曖昧な事項が、評価指数が含まれているのはおかしい。 ・川西の歴史・文化財に興味がある市民の割合 ・健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合 ・「消費者トラブルにあわない心構えができていく」と思う市民の割合 ・市内の医療環境に満足している市民の割合 例えば、市内の医療環境に満足しているとは具体的に何を評価するのか？ 偶然、人工透析患者の家の隣に腎臓内科ができれば満足だろうし、市の政策によるアウトカムとして明確に評価できるような指標とは思えない。市の施策によって実現可能な成果を目標とするべきである。	ご意見のように、市民の実感を問う評価指標については、根拠とするアンケート等において、受け手によって捉え方が変わらないよう配慮する必要があると考えます。「川西市市民実感調査」を実施する際、抽象的な設問については対象の具体例を補足するなど、回答者が分かりやすい記載に努めます。 なお、各小施策に設定している「市民とともにめざす未来像」を実現するためには、市の施策のほか、市民や地域事業者等、多様な主体と相互連携し取り組むことが重要であると考え、その進捗は代表的な評価指標で測っていきます。	K-1